

皆さん、こんにちは。

梅雨が明けて、早いもので、今日、一学期の終業式を迎えました。

中学校1年生と高校1年生の皆さん、4月からの新しい学校での生活はいかがでしたか？皆さんの中には、授業や部活動などで頑張った成果が、成績としてしっかりと表れている人もいます。一方で、勉強と部活動等の両立に追われ、他の人のすごいところばかりに目が行き、人知れず悩んでいる人もいるかもしれません。

そんな人たちには、他の人と自分を比較して、一喜一憂する必要はないと言いたいと思います。皆さんは、これからの学校生活を通して、大きく成長していく無限の可能性を秘めています。努力の成果は必ず出てきます。自分の体調等と相談しながら、引き続き、努力を続けてください。

中学2年生・3年生の皆さんは、未来航路や卒業研究も本格化し、京都研修、東京研修の計画も進んでいると思います。

高校2年生の皆さん、修学旅行はいかがでしたか。関東コース、シンガポール・マレーシアコースとも、素晴らしい体験ができたと聞いています。また、未来航路のテーマや調査方法等が絞られてきて、徐々に本格的な研究活動に入りつつあると思います。

高校3年生の皆さんは、いよいよ「勝負の夏」を迎えます。面談も終わり、志望校やゴールまでの計画も具体化してきたと思いますが、現役の皆さんはこの夏の過ごし方次第で、ぐんぐんと伸びていきます。努力の成果は約3か月後に出ると言われています。「自分が行きたい大学」「行くべき大学」を目指し、自分を信じて、努力を続けてください。

さて、今日の式辞では、夏休みを前に、たぶん多くの皆さんが悩んでいるであろう「何を目指して勉強すればいいのか」「どう勉強すればいいのか」の2点について、問題提起したいと思います。

まず、「何を目指して勉強すればいいのか」についてですが、目標とする大学・学部への合格を目指してというのは、当然です。ただ、大学を卒業したあと、自分は何をしたいのかも考えながら、日々学び続けてほしいと思います。自分の夢や目標を考えることは、毎日の授業を受けたり課題をこなすことよりもしんどいことだと思います。

なぜなら、「自分」というものと向き合わなければいけないからです。

本校では、冒頭で少し触れた「未来航路」の時間で、探究的な取組を実践しています。私は、この「未来航路」の時間は、今の自分と将来の自分、そして今の社会と未来の社会をつなぐ見えない補助線を引く、皆さんの人生にとってとても大切な時間だと思っています。

向かうべき目標を設定し、その目標を達成するための課題を明確にし、その課題解決に向けたプロセスや方策を自分の頭で考えることを通して、自分や社会と向き合う。授業等で学んだいろいろな知識を総合する取組の中で、やらされる勉強ではなく、自分自身で未来を選択し、つかみとるための主体的な学びを、未来航路等で経験してもらいたいと思います。

未来への航海図（チャート）は、誰も描いてはくれません。この夏を使って、自分自身をナビゲートする高い志と確かな学力をしっかりと身に付けてください。

2つ目の「どう勉強すればいいのか」についてですが、先日、大学野球日本代表に東京大学から33年ぶりに選出された宮台康平さんの記事を読みました。

記事によると、宮台さんは、操山と同じ県立高校、神奈川県立湘南高校の出身で、「日本一の文武両道」を目指し、学業と部活動を両立するため、とにかく授業に集中。切り替えを速くし、練習が終わると、すぐに片付けて自宅に帰って勉強し、遠征に向かう電車の中でも教科書を開いていたそうです。現役で東大に合格した彼が普段から心掛けていることは、「時間は決まっている。メリハリを付けること。」

宮台さんは、生活の過ごし方を計画し、常に物事に全力で取り組める体調や環境を整えておくことで、はじめて勉強ができるようになることを、教えてくれています。

私は、勉強、学校行事、部活動など3兎も4兎も追い、毎日、くたくたになりながらも、自分の夢を追いかけて、一生懸命頑張る、全力で挑戦する皆さんを心からリスペクトしています。

そして、私は校長として、操山を、中・高の枠を超え、生徒同士、先生同士、そして生徒と先生がリスペクトし合える学校にしたいと思っています。そのためには、友達の一生懸命さを尊重し、「自分も負けない」と歯をくいしばって努力する、お互いに切磋琢磨する集団になることが大切だと思っています。

それが、実は受験にも大きな影響を与えます。

自分の経験から、「自信」というものは、しんどい中でこれだけやったんだから！というところからしか生まれません。限られた時間の中で、これからも、一人一人が攻めの姿勢を忘れず、努力を続け、自分自身の限界に挑戦してほしいと思います。また、「操山ファミリー」として、クラスや学年のみんなでムードを高めながら、共に困難を乗り越えていきたいと思っています。

最後に。高校3年生は時間の関係で難しいと思いますが、この夏、是非、本校の図書館を利用するなどして、たくさんの素敵な本と出会ってください。これで、私の式辞を終わります。